

会 議 録 要 旨

会議名	令和4年度 第4回藤沢市下水道運営審議会		
開催日時	2022年（令和4年）8月25日（木）午前9時29分～午前11時17分		
開催場所	本庁舎5-1、5-2会議室		傍聴者数
			0人
出席者	会長	杉渕 武	
	委員	井上 美鈴 大内 禎 小野島 真 齋藤 力良 重田 和恵 野牧 喜久江 深澤 潤子 三輪 晋 矢出 乃大	
	事務局	鈴木下水道部長 [下水道総務課] 近藤参事・指旗主幹・細谷主幹・藤原主幹・鈴木補佐・利根補佐 外山専任補佐・三澤上級主査・田中 [下水道管路課] 中村課長・小松補佐・矢口補佐 [下水道施設課] 濱野参事・竹内辻堂浄化センター長・佐藤大清水浄化センター長 田中補佐・鷺塚補佐・斉藤補佐・山村補佐	
議題及び公開・非公開の別	1 今後の下水道事業における整備と運営のあり方について 「中期経営計画の策定」及び「下水道使用料のあり方」について ～答申に向けた総括審議～ その他 (すべて公開)		
非公開の理由			
審議等の概要	<p>《議題》</p> <p>1 今後の下水道事業における整備と運営のあり方について 「中期経営計画の策定」及び「下水道使用料のあり方」について ～答申に向けた総括審議～</p> <p>(1) ふじさわ下水道「中期経営計画(案)」について 資料1-1～2に基づき説明</p> <p>【質疑】</p> <p>(1) 資料1-2 No.6 P23の修正後に「〈最適化例：処理場のダウンサイジング〉と修正しました」とあるが、資料1-1 P23に「最適化例」と記載がなく「浄化センターのダウンサイジング」という表記になっている。 《回答》 資料1-2に誤りがあり、正しくは資料1-1 P23の表記が正しく「下水道施設の再構築のイメージ」と「例：浄化センターのダウンサイジング」に修正をお願いします。</p> <p>(2) 資料1-1 P28のマンホールトイレシステムのイメージですが、下水管からマンホールトイレに落ち、貯留槽に入れ、下水本管に行く絵になっていますが、一般的にはマンホール、終末マンホール、下水本管、下水幹線に入り、処理場で処理するのが通常なので図面を変更したほうがよいのでは。 《回答》 イメージ図は、一般的なものに差し替えいたします。</p> <p>(3) 資料1-1 P53の改善値の説明がP49にある形ですが、「下水道使用料の見直し等により解消し、経費回収率は前半5年間は100%以上に改善されました」という書き方になっていますが、料金改定が決まったらこうなるという内容と理解してよいのか。 《回答》 P53.54の財政計画は、P49.50の改善値と同じ数値になっており、試算のギャップを下水道使用料の見直しによって解消したものを改善値として載せています。</p> <p>(4) 料金改定と中期計画は一緒に審議して認められるような形になるのでしょうか。例えば料金改定が継続的な形になった場合、改善されましたという過去形の表現でよいのか。</p>		

審議等の概要

《回答》

これからの提案する内容なので表現が確定的ではなく「見込みです」や「考えております」など想定する表現に修正いたします。

- (5) 資料1-1 P50のグラフで令和10年度以降、施策2「ストックマネジメント実施方針の着実な推進」の金額が大きく伸びていく推移ですが、ほかの施策はこの凡例の表記で具体的な内容がある程度イメージができるのですが、施策2は具体的なイメージがつかみづらいのではないかと。括弧書きで具体的な内容を加えたほうが分かりやすいと思います。

《回答》

この凡例の下に説明を加えるなどわかりやすく伝わるよう改善したいと思います。

- (6) 資料1-1 P48の図の青い矢印の使用料は、使用料ではなく処理経費だと思います。下水道使用料に着目すればこの図のとおりだと思いますが、経費回収率から見ると、経費に対して使用料で賄う比率という意味合いなので、左側の使用料は経費に当たるのではないかと。また、その横側に破線で経費回収率100%以下とあるが、線の位置を上にあげ不足分の矢印を小さくしたほうがよいのでは。

《回答》

ご意見のとおり青い矢印は経費に相当するため修正させていただきます。破線の位置に関しても、不足分のスペースを小さくよう改善したいと思います。

- (7) 資料1-1 P6にある写真ですが、いつ・どこで発生したものなのか書いてあるとより分かりやすいと思います。

《回答》

発生した年号を載せるように修正をいたします。そのほか写真が掲載されているものについても修正をさせていただきます。

- (8) P43表5-2. 1の収益的収支の営業外収益は何か。

《回答》

P53 財政計画の収入欄に営業外収益の項目があります。受取利息配当金、他会計負担金、長期前受金戻入、雑収益、国庫補助金となります。

- (9) 長期前受金というのは、どういう意味でしたか。

《回答》

P38の中断※印1に説明を入れておまして「資産取得時に財源とした補助金等を減価償却に対応して収益化したもの」となります。

(2) 答申に向けた総括審議

答申（案）、資料2に基づき説明

【意見】

- (10) 答申案P3アの下から2行目「なお、固定費算入率は、現在は34%で、将来は50%を目指しますが」ですが、審議会が主体となって50%を目指すというより、審議会としては50%が必要であると思われるかと表現したほうがよいのでは。その次の「避けるために40%とすることが妥当と考えます」は、50%が必要と思われるという表現のほうがよいのでは。

P5の一番最後(2)下水道使用料のあり方の中段の上から3行目、「市は職員の経営意識を高め」とあるが、下水道部そのものが1つの事業体なので、例えば下水道事業管理者としての経営意識を高めという表現のほうがよいのでは。

- (11) 以前意見した累進度の説明が分かりやすくなったと思います。

- (12) P3の下 イ、利用者間の公平性の確保ですが、特定の利用者への偏った負担増がないようにするという意味と捉えていますが、イの最後の累進度の変化は、多量使用者と少量使用者との負担率がより近づくという意味となるためここに記載すると混乱を招かないか。利用者間の公平性の確保は、負担増を均一にするという趣旨だと思います。

《回答》

P3では、利用者間の公平性の確保の基本的な考えとして、累進増制を踏まえながら一律の割合で値上げをすることを基本としています。その流れで累進度の説明を入れております。混乱しないような表現を考えてまいります。

- (13) P2(6)の「評価結果を公表することにより、市民の理解を進める」とありますが、市民の理解を得るためには、その評価結果の公表と説明機会を設けるなどして市民の理解がつながるのではないかと。思います。

<p>審議等の概要</p>	<p>(14) P5（2）の下水道使用料のあり方「下水道使用料の改定は避けられないと判断しますが」とありますが、改定することが目指す方向性なので「判断します」と表現したほうがよいのでは。</p> <p>(15) 市民としては見える化が一番大事なポイントだと思います。利用者と共有することで下水道事業の市民への理解を進めることを要望しますという文言があることはよいと思います。P5（2）下水道使用料のあり方についてで、市民の理解を深めるだけではなく、応分負担についても理解していただくことが大事だと思います。</p> <p>(16) P5（2）の下水道使用料のあり方についてで、下水道使用料のアップをお願いするだけでなく、下水道事業者として引き続き経営努力を行うことを切望しますという文言はとてもよいと思います。</p> <p>(17) P2（2）「市民の安全で快適な暮らしを維持していく」と中期経営計画（案）P5 4行目「1点目は、安全で快適な暮らしを維持するための」で、同じ意味合いであれば文言を統一したほうがよいのでは。</p> <p>(18) 下水道のあり方で、職員の方も努力をしているということを私たちにも知らせる場があるといいと思いました。</p>
<p>その他</p>	<p>(1) 下水道PR事業について 下水道フェアを10月30日（日）午前10時～午後2時、会場は大清水浄化センターで開催予定。 次回、9月9日の審議会で「下水道の日」作品コンクール優秀作品の選定と「下水道の日」街頭キャンペーンを行う予定。</p> <p>(2) 辻堂浄化センター施設見学会について 下水道の「見える化」の推進として、辻堂浄化センター施設見学会を8月10日に開催。29組75名の応募があり、抽選で5組18名の参加があった。 また、追加で施設見学会を8月18日に開催し、7組19名の参加があった。</p>